

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 明和町	対談項目1 河川堤防等の空洞化調査の結果及び早期改修について	笹笛川、祓川の河川堤防、海岸堤防部分の老朽化に対する改修・対策については、地元住民の関心が高い。これらに対する平成25年度の県の対策の進捗状況、今後の考え方について伺いたい。	平成24年度に行った調査の結果、笹笛川では損傷が4か所、祓川では損傷が8か所、空洞が2か所確認された。空洞箇所については今年度に対策を行う。損傷箇所についてもなるべく早く補修対策を行っていく。海岸堤防については下御糸地区海岸の老朽化対策として平成26年度から対策を進める予定である。
2 明和町	対談項目2 伊勢街道(県道伊勢小俣松阪線)の景観整備について	伊勢街道の景観整備については県の景観まちづくりプロジェクトとして、カラー舗装をしていただいた。近年、伊勢街道が観光のルートとして注目され、松阪から伊勢までウォーキングする人が増えた。景観の整備とともに地元住民への利便性、安全性の向上のため街道整備の事業化をお願いしたい。また、安全安心の観点から歩道の整備を検討してほしい。	平成19年度から21年度にこの地域の整備を行ったが、この事業を使って再度行うことはできない。町の意向も十分理解できるがにわかにはできない事業がないため、少し時間をいただいて検討したい。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 明和町	(当日追加項目) 公共施設の地震・津波対策について	公立小・中学校の耐震化は100%完了しているが、津波浸水予想区域に小学校が2校あり、老朽化に対する改築を移転を前提に考えていく必要がある。これらの公共施設の移転に係る財政的支援を県でも考えてほしい。町村会から国への要望も働きかけている。	国では南海トラフ特別措置法の審議に入るところであり、これが成立すると小中学校の移転補助事業が今まで以上にかさ上げされる。対象は建物部分だけであるため、土地取得、造成も含めるよう9県で要望を行っている。国の状況を見ながら県の対応も考えていきたい。
4 明和町	(当日追加項目) 県の防災計画について	県の地震津波対策行動計画が今年度中にまとめられると聞いているが、町においても被害想定に伴ってやらなければならないことがたくさんあるので、なるべく早い時期に計画をまとめていただきたい。	ハードとソフトを併せた計画の策定を今年度中に行い、地域防災計画の見直しも併せて行いたい。市町の計画策定がスムーズに進むよう適宜、情報提供を行うよう努力したい。
5 明和町	(当日追加項目) 下水道の整備について	町内では下水道の整備が進んでいない。宮川流域下水道事業の中で平成32年度までに事業化できればと考えているが、県の支援をお願いしたい。	下水道については県全体でも遅れている状況であり、アクションプログラムを作って順次取り組んでいる。町の事情をよく聞いて対応したい。
6 明和町	(当日追加項目) 観光の振興について	明和町は行政区画は松阪管内であるが、定住自立圏は伊勢に入れてもらっており、皇學館大学と包括協定も結んでいる。斎宮跡をPRしていくためには伊勢とのつながりが重要であり、県のバックアップをお願いしたい。	4月から始めている観光キャンペーンでは伊勢の部会にも入っていただいている。町の活性化が大事であり、行政の管轄にしばられることなく柔軟に対応していく。